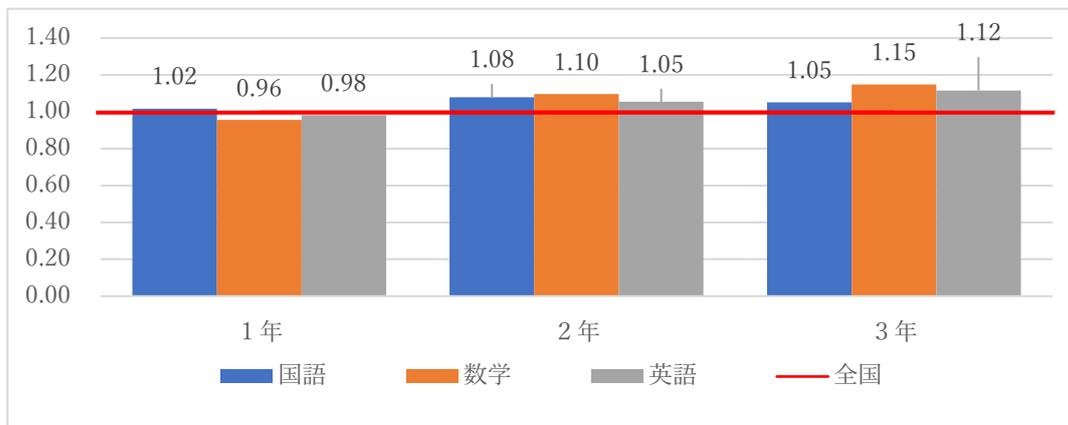


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第一中学校区 第一中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	1、2年生とも「読むこと」の領域で全国平均を上回っていた。「話すこと」「聞くこと」については、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるためのスピーチの表現方法や工夫の仕方等を指導していく。
	数学	1、2年生とも「数と計算」の領域で全国平均を上回っていた。「データの活用」について課題があり、データの傾向を的確に捉え、その根拠として判断した理由を説明する活動を充実させていく。
	英語	2年生で「読むこと」「書くこと」の領域が全国平均を上回っていた。1、2年生とも「聞くこと」の領域について課題があり、授業中に英語を使った実際のコミュニケーションの場面を多く設定し、生徒が英語に触れる機会の充実を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均を上回った。知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、字体、字形、音訓、意味や用法などを場面に応じて適切に使い分けられるように指導する。
	数学	「数と式」「図形」「関数」の領域で全国平均を上回った。データに基づいて考察する場面では、度数分布表やヒストグラムを作成し、データの特徴や分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるよう指導を行っていく。
	英語	「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」全ての領域で全国平均を上回っていた。「書くこと」の領域の無回答率が全国平均よりも少し高かったため、考えを英語で表現する工夫を行っていく。
	質問紙	「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」88.9%、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」81.9%と全国平均を大きく上回った。全ての教科で横断的に「考える力と伝える力の育成」をめざしていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。「ノート指導」「表現活動」を中心にした「書く力」の育成にも努めている。

【 学 校 】

学校全体でポジティブ行動支援（PBIS）の取組を「PUT1」と名付けて生活・学習の場面で展開している。自己肯定感につながるフィードバック、他の考えを受け止め自分の考えをしっかりと述べる場面設定を心がけ、表現力育成に努める。